

## 嘆きの壁 (Wailing Wall)

「嘆きの壁」は、ヘロデ神殿を取り巻いていた外壁の西側の部分で、その基礎部分は、ほぼすべて残されています。

紀元前 20 年にヘロデ大王によって完全改築に近い形で大拡張された神殿（ヘロデ神殿）は紀元 70 年、ユダヤ戦争において、ローマ帝国軍とその同盟軍であったハスモン王朝のヘロデ大王の曾孫にあたるアグリッパ 2 世により破壊されました。「嘆きの壁」は、ユダヤ教信徒が神殿の破壊を嘆き、聖地の回復を祈って涙を流すことに由来します。

参考文献 [Wikipedia:「エルサレム神殿」](#) 最終更新 2015 年 8 月 27 日